

駒ヶ根市民報

No.1332
2014.12.21
日本共産党
駒ヶ根市委員会
Tel 83-2969

国の医療・福祉施策の削減への

市長の認識を問う

国保税は引き上げないように

保育料第3子以降は無料に

市議会 坂本やすひこ議員の一般質問

国の施策は市民生活の向上に逆行しないか

質 問 国の政治は医療・福祉の後退が始まっているのが現実だが、市長は今の国の施策で市民の暮らしは良くなるとの認識かどうか。国政のやることをそのまま受け入れて市民との矛盾はないか政治姿勢を問う。



地方創生

生かしていく

市長 社会保障改革は待ったなしと認識は皆さん持つ

ている。財政基盤強化で消費税増税はやむを得ない。地方創生いかして地域経済の活性化はかり、国の施策に期待していきたい。

国保税は引き上げない

ようにすべき

質 問 国保税はこの3年間は据え置きになっている。暮らしの実態に配慮して引き上げないようにすべきと思いますが運営の見通しはどうか。もし運営が厳しいとすれば法定外繰り入れをして対応すべきではないか。

国保税が引き上げられれば、消費税の増税や年金減、医療・福祉の負担増で国保税が払いきれない人も予想されます。必要に応じて財源の一部を一般会計から繰り入れるべきではないか

慎重に検討していく

市長 基金を取り崩すことになっているが今後の医療費の状況や基金残高を踏まえ検討する。法定外繰り入れは、止むを得ず繰り入れしている市町村あるが慎重に検討していきたい。

子ども医療費窓口

支払いで運用の改善を

質 問 子ども医療費窓口

での支払い困難な人に、市の立て替え制度があるが、手続きが複雑で利用が出来にくい運用になっている。もっと利用できるように改善すべきではないか。

本来は窓口無料化が実現できればこの制度はいらない制度になります。長野県では実現していないため、現状では医療費貸付事業の運用を改善することを提案する。

事業の目的は一時的に支払うことが困難な受給者に資金の貸付を行うとなつてはいるが、こういう枠をはめるのではなく、利用したい人に利用しやすくする改正をすべきではないか。

今のままでは利用しにくい現状なので、手続きの簡素化と窓口で申請できるようにすべきでは。

この制度はいくら活用しても財政負担が増えるわけではないので利用しやすい制度に改めることを強調します。

さらに1レセプトごと500円の負担金を診療料ごとではなく、せめて1つにするべきではないか。

利用しやすいことに

検討していきたい

市長 提案いただいたので利用しやすいことに検討していきたい。

今の制度の中で申請手続き簡素化検討する。

福祉灯油の実施を

質 問 高齢者世帯などに福祉灯油の実施を。今年の冬も厳しい寒さが始まっています。円安の影響で高止まりの灯油代になっている。灯油券の発行をすべきではないか。

市長 平成19年に実施したが当時より灯油代は下がっているので様子を見ていく。

保育料第3子以降

大胆に軽減実施を

質 問 保育料の第2子第3子同時通園では半額と無料になっているが、同時通園でない第3子軽減率は少ない。軽減をもっと大胆に実施して、第3子以降の保育料は無料に。

保育料軽減を

拡充する

市長 今後の3ヶ年計画では第3子以降の保育料軽減を拡充する。さらなる充実は財政的な問題を含めこんごの検討課題。

学校空調設備の進捗

質 問 小中学校空調設備設置の進捗と今後は。

教育長 3ヶ年実施計画で計画的に設置していく。

衆議院選挙、大きなご支援いただきましてありがとうございました。

駒ヶ根市の結果

北陸信越ブロック

比例 2 2 4 0 票

得票率 1 4. 5 7 %

前回比 8 4 6 票増

参院選比 1 3 4 票増

選挙区

水野ちかあき

2 2 8 3 票

得票率 1 4. 8 2 %

前回比 7 5 0 票増

参院選比 8 8 票減